

関西大学研究データ管理・公開ポリシー

2025年3月14日

研究推進委員会承認

2025年3月26日

学部長・研究科長会議承認

関西大学（以下、「本学」という。）は、「学の実化」を学是としている。これは「大学は教育研究に実社会の知識や経験を取り入れ、社会は大学の学術研究の成果を取り入れることによって、『学理と実際との調和』を求める考え方」を示したものであり、本学はこの学是の下、社会との連携を強化し、研究成果の社会への還元・活用を推進してきた。

このような背景に鑑み、本学は、研究活動によって得られた成果を適切に管理し、研究成果を広く学内外に公開することにより、学術研究のさらなる発展と社会の持続的な発展に寄与することを目的として、ここに関西大学研究データ管理・公開ポリシー（以下「本ポリシー」という。）を次のとおり定める。

なお、本ポリシーは本学における研究データの管理、公開及び利活用についての方針を示したものであるが、法令、契約、本学の諸規程等の実施に制約を与えるものではない。

（定義）

1. 本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集又は生成された情報を指し、デジタル・非デジタルを問わない。

（研究データの管理）

2. 研究者は、自らが収集・生成した研究データの管理を行う権限を有するとともに、それぞれの研究分野における法令、倫理規範及び本学諸規程等に従って適切に管理するものとする。

（研究データの公開）

3. 研究者は、研究分野の特性等を考慮し、関係する法令及び倫理規範等に従って、可能な限り社会に研究データを公開し、その利活用を促進する。

（大学の役割）

4. 本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境を整える。

（その他）

5. 社会や学術状況の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。